学校だより
柏っ子
令和　８年１０月２６日
恵庭市立柏小学校
恵庭市文京町３丁目3-3
TEL：32-3579　FAX:32-5504
特別号
あいさついっぱい、笑顔あふれる柏っ子

令和８年度　全国学力学習状況調査　本校の結果について

保護者・地域の皆様には日頃より本校の教育活動にご支援・ご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、４月に６年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の本校の結果・分析についてお知らせします。この調査は児童の学力や学習状況を把握し、今後の学習指導に役立てることを目的とし、本校もそれを踏まえて授業改善などに生かしております。なお、結果はあくまで学力や学習状況の一側面をとらえたものです。

１．学力検査正答率の結果から（全国平均との比較）

教　科	状　況	見　解
国　語	下回っている	・本校の学力テストの正答率は、全体として全国平均を下回る結果となりました。特に、基礎的な知識を生かして考える問題や、文章で答える問題で差が見られ、学力の定着と応用力に課題があることがわかりました。今後は、授業のなかで「自分の考えを説明する活動」や「どのように考えたかを振り返る機会」を増やし、基礎学力の確実な定着と、知識を生かす力の向上に努めてまいります。
算　数	下回っている	

２．各教科の領域別正答率の結果から（全国平均との比較）

領　域	国語の状況	見　解
話すこと 聞くこと	下回っている	・国語では、文章を読み取って自分の考えをまとめる力や、根拠を示して表現する「記述式の問題」については、全国平均に近い結果となりました。一方で、語彙（言葉の意味）や漢字といった基礎的な知識については全国平均を下回る結果となり、基礎の確実な定着に課題が見られました。今後は、日常の授業や家庭学習のなかで、漢字の練習や言葉のきまりを丁寧に振り返る時間を増やし、国語の土台となる基礎学力の向上に努めてまいります。
書くこと	下回っている	
読むこと	やや下回っている	

領　域	算数の状況	見　解
数と計算	下回っている	・算数の結果につきましては、全体として全国平均を下回る結果となりました。長さや時間を求める「測定」の分野では比較的高い正答率となりましたが、「図形」や「数量の変化や関係」を読み解く問題、および自らの考えを文章で答える「記述式」の問題において課題が見られました。今後は、計算などの基礎学力を確実におさらいするとともに、ただ解き方を覚えるだけでなく、「どうしてその答えになったのか」を自分の言葉で説明する活動を授業のなかで増やし、筋道を立てて考え・伝える力を丁寧に育ててまいります。
図　　形	下回っている	
測　　定	下回っている	
変化と関係	下回っている	
データの活用	下回っている	

３．児童質問紙の結果から

【良い面】

○**算数の学習に対する前向きな姿勢**：「算数の勉強は好きですか」という質問に「当てはまる」と答えた児童が、全国平均より高い結果となりました。

○**探究的な学びへの積極性**：「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」に対し、「当てはまる」の回答が全国平均を上回りました。

○**いじめを許さない意識の高さ**：「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問に対し、「当てはまる」と答えた児童が、全国平均を上回りました。

→子どもたちの「学びたい」「調べたい」という意欲をさらに引き出し、互いの考えを尊重しながら主体的に学べる、安全・安心な学校づくりをさらに進めてまいります。

【課題と思われる面】

●**自ら学びを工夫する力の定着**：「分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」に対し、「できている」と答えた割合は、全国平均を下回りました。

●**大人への相談に対するハードル**：「困りごとや不安がある時に、大人にいつでも相談できますか」に対し、「当てはまる」と答えた割合は、全国平均を下回る結果となりました。

●**自己肯定感や承認実感の不足**：「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という質問に対し、「当てはまる」と答えた割合は、全国平均を下回りました。

→ご家庭とも連携を深めながら、子どもたち一人ひとりの小さな成長や良いところを学校全体で積極的に見つけて褒める機会を増やします。いつでも安心して大人に相談できる信頼関係を築き、自ら考え工夫して学ぶ力を育んでいきます。

４．出題された問題と解答の状況

国　語

小学校国語 大問２四

引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題

【花山さんの文章の続き】

4　すずしく過ごせる衣服の色は何色か

「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、暑さでもすずしく過ごすことができそうだ。

また、

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反しゃする色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。

【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く。

条件①【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、抜き出して書いている。

条件②抜き出した本の題名と本文の一部の内容はかぎかっこ（「　」）でくくっている。

条件③抜き出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服の色について考えたことを書いている。

条件④ 140字以内にまとめて書いている。

正答例（正答率 33.6%）	○「生活と太陽」という本には、「白は熱や光を反しゃする色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。」と書かれている。特に強い日差しが照りつけるえん天下では、黒い服より白い服を着る方が、すずしく過ごすことができそうだ。
誤答例	条件③は満たしているが、①②を満たしていないもの　…29.1% ●白は雪の色であり、冷たい印象がある。また、白色や青色の衣服は着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせることができる。

本文の一部を引用して書けたが、引用した部分と自分の考えとの関係を明確にし、区別して書くことができなかった児童がいた。

●文章を引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られた。

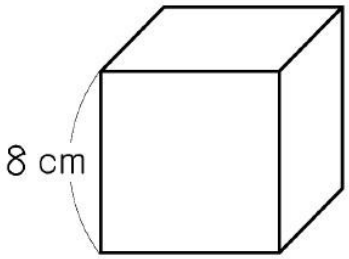
⇒自分の考えを伝える際に、考えと根拠を区別して表現することを意識させることが重要。

算　数

小学校算数 大問１(１)

立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる問題

１辺が８cmの立方体の体積を求める式を書く。



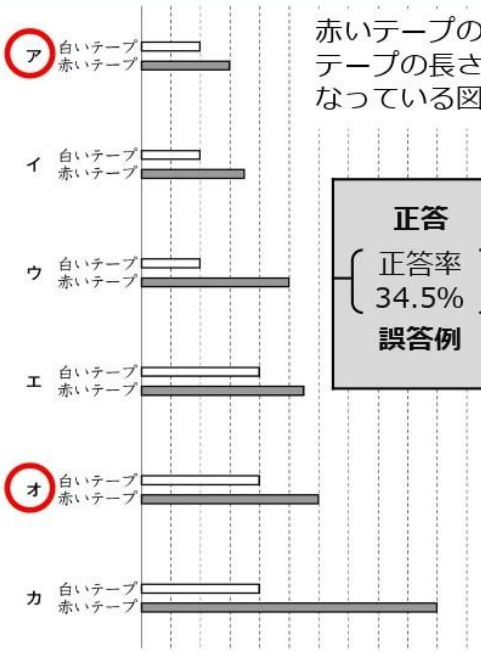
正答（正答率 72.9%）	8×8×8
誤答例	8×8　･･･10.2% 8×6、8×3　･･･5.5%

立方体の全ての辺が等しいことは理解しているが、誤って正方形の面積の公式を用いている児童や、立方体の特徴を体積の求め方に結び付けることができていない児童がいた。

小学校算数 大問２(４)

基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる問題

赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図を二つ選ぶ。



正答（正答率 34.5%）	ア・オ
誤答例	イ・エ ･･･35.7%

基準量の1.5倍に当たる量を、基準量より1.5目盛り分多い量であると誤って捉えていると考えられる児童がいた。

●立方体の体積の求め方の理解や、基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えることに課題が見られた。

⇒図形の指導において具体的な活用の場面を通じて理解を深めることや、量と割合の違いについて図で表現するなどしながら理解を深めることが重要。

５．取組の充実・改善の方向性

◇授業と家庭学習をつなぎ、復習の習慣化を図ります
　現在の課題を改善するため、日々の授業をより分かりやすく工夫するとともに、これまで習ったことの振り返りを大切にします。ご家庭での宿題や学習と学校の授業をしっかりと結びつけ、家庭でも復習する習慣を身につけることで、基礎学力の確かな定着を目指します。

◇ノートやタブレットを活用し、自分で考える力を育てます
　授業の中で、自分の考えをノートに書き込んだり、タブレットを使ってまとめたりすることで、頭の中を整理する力を育てます。学校全体でこれらのツールの活用方法を工夫し、子どもたちが自ら考えを深め、自分なりの言葉で表現できるような授業づくりを進めます。

◇「やる気と自信」を育む学校づくりを進めます
　子どもたちが「やる気と自信」に満ちた、笑顔あふれる学校生活を送ることができるよう、教職員が一丸となって子どもに寄り沿い、日々の教育活動の改善に全力で取り組んでまいります。

北海道教育委員会リーフレット「時間の目安を決めて子どもの生活リズムを整える！」より（一部抜粋）

1　学習習慣の定着を！

自ら計画を立て、やり抜く姿を見守りましょう

○　家庭では子どもが自ら学習計画を立てて実行する中で学習意欲を向上させ、望ましい学習習慣を確立させていくことが大切です。子どもが学習に取り組む姿をほめるなどして自信をもたせるとともに、最後までやり抜くことの大切さを伝えましょう。

子どもとルールを作りましょう

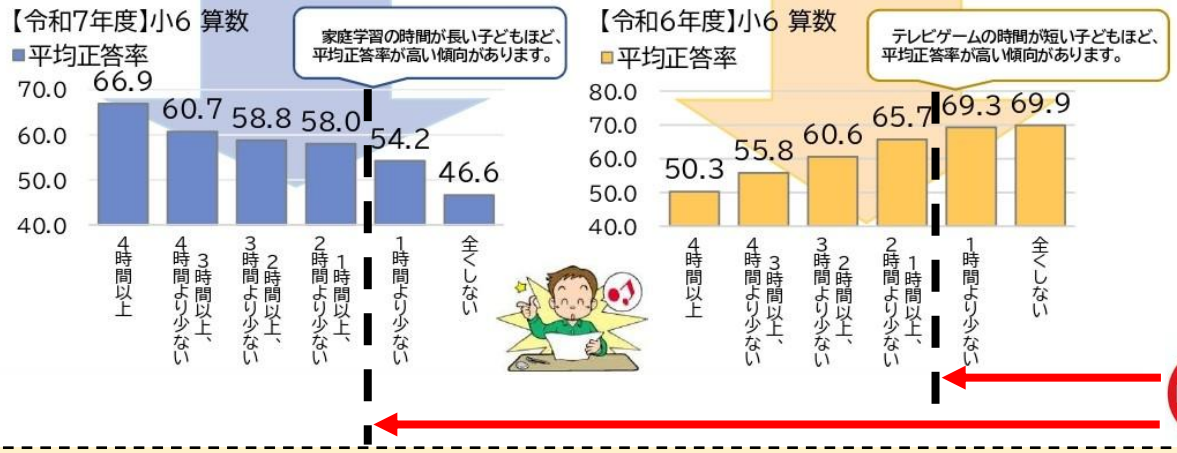
POINT 1

○　本道の子どもたちは、1日の中で、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームなど）をする時間が、全国の子どもたちに比べて長い傾向があります。家庭でルールを作り、規則的な生活習慣を整えましょう。

本道の子どもたちの学習習慣（令和7,6年度 全国学力・学習状況調査より）

○　1日当たり1時間以上勉強している子どもの割合が全国と比べて低く、1日当たりのテレビゲームをしている時間の割合が全国と比べて高い傾向にあります。

学習習慣と平均正答率の相関（令和7,6年度 全国学力・学習状況調査より）



POINT 2

Point１

・本校の子どもたちも、テレビゲームやスマートフォンをする時間が、全国の子どもたちに比べて長い傾向があります。また、「スマートフォンやタブレットは持っているが、約束はない。約束を守っていない。」という子どもも多いようです。今一度、ご家庭でのルールの確認をお願いいたします。

Point2

・１日当たりの学習時間の目安は、「学年×１０分＋１０分」といわれており、６年生ですと７０分の学習時間が必要ということになります。児童質問紙の回答から、１時間以上学習している子は**３５．６％**（全国平均：４９．９％）、１時間未満の子が**６４．３％**（全国平均：４９．３％）います。上の表からも分かる通り、１時間以上学習している子ほど、平均正答率が高い傾向があります。
また、テレビゲームの時間についても、１時間以上ゲームをしている子ほど、正答率が下がる傾向があります。

学習時間は1時間以上！ゲーム時間は1時間以内にしましょう！！